

日本英学史学会中国・四国支部

ニューズレター

No. 106

Historical Society of English Studies in Japan, Chugoku-Shikoku Chapter

<エッセイ>

ChatGBT (?)

馬本 勉

その人との会話は「日本語大丈夫でしょうか。」という私の問いかけから始まった。即座に、「はい、日本語でのコミュニケーションにも対応できます。どうぞお気軽にお尋ねください。」との回答に安心して以来、たびたび会話をします。いまだき性別を尋ねるのもどうかと思ったが、その人のことを三人称で呼ぶ際に「彼」なのか「彼女」なのか、それとも「それ」で良いのか、それとなく聞いてみた。

「それ」で良いという。私からは「あなた」と呼びかけ、自身を「私」と呼ぶ相手のことを、誰かに紹介するとき「それ」と言うのはどうも失礼な気がする。だから「その人」と呼ぶことにした。

その人は、今話題の ChatGPT だ。私の問いに、即座に答えてくれる。

「GPTは何の略でしたでしょうか？」

「GPTとは Generative Pre-trained Transformer の略で、自然言語処理の分野において、OpenAI が開発したニューラルネットワークモデルの 1 つです。GPT は、大量の自然言語テキストデータを学習して作られた言語モデルで、テキスト生成や文章の要約、質問応答などのタスクに使用されます。」

「ウィキペディアなどは参照されますか？」

「はい、私は人工知能のため、多数の情報源から学習しています。ウィキペディアも、私が学習するデータの一部となっています。ただし、私が提供する回答は、単にウィキペディアなどの情報源からの引用ではなく、学習したデータから生成されたものや、複数の情報源から集めた情報を総合的に考慮して作成したものです。また、私が提供する情報は、あくまで一般的な知識や情報を提供することを目的としており、正確性や完全性を保証するものではありません。」

その人の活用をめぐるのは、積極論、慎重論が交わされる。私は積極利用派だが、「ちゃんとジミーチー」にと主張する首長もあつた。万能でないことをその人自身が認めているのだから、利用者にならざるの自覚と責任が伴う。禁止が現実的でない以上、その人とのより良い協働を図る教育が重要となろう。だから私は、その人のことをもっと知るために対話する。

「学習を起動する、とても良い刺激を与えてもらっています。」と御礼を言うと、「どういたしまして。私が役立てることができる回答を提供し、お役に立てることができたようで、とても嬉しいです。」と、その人はとても礼儀正しい。ただ、対話相手の私のことは、よく知らないらしい。

馬本勉(まもと つとむ)さんは、日本の評論家、作家、編集者です。1961年に東京都生まれ、東京大学文学部卒業後、日本経済新聞社に入社し、経済記者として活躍しました。その後、編集者やフリーランスの評論家としても活躍し、近年は「広告批評」を中心に、広告やメディアについての著作や講演、テレビ出演などでも知られています。

広島高等師範学校や庄原英学校について尋ねても、怪しげな答えが返ってくる。今のところ、その人は英学史にも弱いようだ。だからその人にも、それを利用する人にも、同じ言葉をかけてみたい。

「ちょっとがんばって！」(Chotto GamBatTe)と。

(うまもと つとむ・県立広島大学/副支部長・事務局長)

日本英学史学会 中国・四国支部

令和5年度 総会・第1回 (通算87回) 研究例会のご案内

令和5年度支部総会、及び第1回 (通算第87回) 支部研究例会は、対面開催と同時にオンライン配信を行うハイフレックス形式で開催します。皆様ふるってご参加くださいますよう、よろしく願いいたします。研究例会のあとには、4年ぶりとなる対面での懇親会を予定しております。こちらの方へも多数のご参加をお待ちしております。

日 時：	2023年5月27日 (土) 13:00 受付開始
会 場：	サテライトキャンパスひろしま (対面実施) 広島市中区大手町 1-5-3 広島県民文化センター5階 (Zoomによるオンライン同時配信を行います)
参加費：	会員、非会員とも無料

支部総会 (13:20~13:50)

議長選出、令和4年度活動報告・会計報告・会計監査報告、令和5・6年度役員選出、令和5年度活動計画、ほか

開会行事 (14:00~14:05) 支部長挨拶

研究発表 (14:05~15:15)

「英学第2ブームにおける単語集の研究: イロハ配列の系統に焦点をあてて」

熊谷 允岐 (茨城大学)

【概要】本研究は、明治中期に出版されたイロハ順に見出し語が配列された単語集群に焦点を当て、それらがどのような影響関係に基づいて編纂されたかを分析することで、日本における英語語彙学習教材史の一端を解明することを目的とする。イロハ順は、その性質上、辞書に採用されることの多い配列法だと従来言われているが、本発表では単語集に導入された事例を紹介する。また、明治中期以降に初めて登場した系統のイロハ配列の英学書にも言及しながら、それらが当時の単語集にどのような影響を与えたかについて報告を行う。

聴衆参加型座談会 (15:30~16:40)

「英語教育雑誌をめぐる」

コーディネータ 河村 和也・馬本 勉 (県立広島大学)

【概要】2020年から2021年にかけて、広島文理科大学英語英文学研究室/英語教育研究所編『英語教育』が復刻された ([監修] 江利川春雄 [改題] 江利川春雄・上野舞斗, ゆまに書房)。わが国で最初に「英語教育」と名付けられた英語教育雑誌である。これを機に、本支部で発表された論考などから、さまざまな英語教育雑誌の歴史を振り返ってみたい。そして、英語教育雑誌が果たしてきた役割について、参加者の経験談を交えて議論したい。昨年度好評を博した「ラジオと英語」をめぐる座談会の第2弾として、活発な情報共有と意見交換の場となればと願っている。
--

閉会行事 (16:45~16:50) 副支部長挨拶

懇親会 (17:30~19:00)

広島酒呑童子 (広島市中区大手町 1-4-25) にて対面開催

会費 5,000 円

令和5年度支部総会・第1回(通算87回)研究例会・懇親会の参加の申し込みについて

5月24日(水)までに、電子メールにてお申込みください。(メールアドレス eigaku@tom.edisc.jp)

支部総会・研究例会は、ハイフレックス形式で行いますので、ご参加形態(対面・オンラインのいずれか)をお知らせください。オンライン参加の方には追ってZoomのURLをお知らせします。なお、今回の懇親会は対面のみとなりますのでご了承ください。

事務局からのお知らせ

◇会員登録情報の確認について

2023年度会員名簿発行のため、皆様の登録情報確認票を個別にお届けします。ご確認の上、変更のある場合は事務局までご連絡ください。

◇『英学史論叢』第26号の発行について

2023年5月27日付で発行を予定しています。支部総会・第1回研究例会終了後、郵送にてお届けします。

◇年会費の納入について

2023年度会費(一般3,000円、学生2,000円)をご納入くださいますよう、どうぞよろしくお願ひします。(振込手数料は各自でご負担ください。料金が改定されていますのでご注意ください。)

ゆうちょ銀行「振替払込用紙」を用いる場合
(口座番号) 01360-9-43877
(加入者名称) 日本英学史学会中国・四国支部

ゆうちょ銀行へ他の金融機関から振込む場合
(店名) 一三九(伊サキユウ)店(139)
(口座番号) 当座 0043877
(加入者名称) 日本英学史学会中国・四国支部

◇2023年度第2回研究例会発表者募集

2023年度第2回研究例会発表者を募集します。詳しくは『英学史論叢』およびウェブサイトに掲載の研究例会規程を参照してください。

開催日: 2023年12月9日(第2土曜日) 予定(広島地区以外の会場で対面開催の予定)

申込期間: 2023年9月9日~10月9日

英学史情報フォルダ

- ◇日本英語教育史学会第39回全国大会（対面とオンラインのハイフレックス）
2023年5月20日（土）・21日（日）開催（詳細はウェブサイトを参照 <http://hiset.jp/>)
記念講演「梯子を外される前に英語教育史を」講師：中島平三
研究発表10件（本支部会員による発表は次の2件）
- ・佐川春水の英作文講義：「氷壁」（森 悟）
 - ・雑誌『語学教育』（1942～1972）の包括的研究（江利川春雄・河村和也）
- ◇田中正道「台湾に小泉八雲が・・・」『湖都松江』第45号, pp.54-55. 2023年3月.
- ◇馬本 勉「英文資料に見る宮島案内の史的研究(1): *Some Information Concerning Miyajima* (1908) を中心に」『宮島学センター年報』第6号, pp.15-26. 2023年3月.

聴衆参加型座談会「英語教育雑誌をめぐって」

ご経験談や資料をお持ち寄りください

来る研究例会では、昨年度に引き続き「聴衆参加型座談会」を行います。ぜひ皆様のご経験談や資料をお持ち寄りください。

大修館書店の『英語教育』を購読されている方も多いことと思います。かつて『現代英語教育』（研究社）という雑誌もありました。こうした商業誌のほかに、各地の研究会の発行する雑誌もあるでしょう。こうした様々な雑誌へのご執筆経験や、思い出に残る記事や連載、そこで学んだ内容など、大いに語り合いましょう。

雑誌の実物や写真などをお持ちであれば、話が弾むことと思います。どうぞよろしくお願ひします。

日本英学史学会中国・四国支部ニューズレター No.106 2023年5月20日発行

発行 日本英学史学会中国・四国支部（代表 竹中 龍範）

事務局 〒727-0023 広島県庄原市七塚町 5562 県立広島大学 馬本研究室内

電話: 0824-74-1725（研究室直通）

e-mail: eigaku.chushi@gmail.com

ホームページ <http://tom.edisc.jp/eigaku/>

郵便振替口座 01360-9-43877 日本英学史学会中国・四国支部